

こごも
木籠ふるさと便り

発行：
山古志木籠ふるさと会
会長：松井 治二
発行年月日：
平成23年9月5日

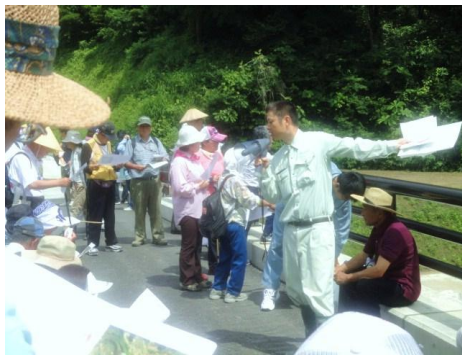


初夏の山歩き

～天空の田畑を目指して～

7月2日(土)晴天！^{おおどうげ}大道路を目指して山歩きが出發しました。そこには震災前、木籠住民の生活基盤であった田んぼや畑があります。震災のため地形が変わり、今は耕す事が出来ない場所がほとんどです。けれど、懐かしい自分たちの故郷に帰るかのように、木籠住民の足取りは弾み、みんな素敵な笑顔で出發しました。

途中、湯沢砂防さんから、震災から今までどのような復旧工事が行われてきたか、現在も継続中の工事の説明を受け、災害の深刻さを知ることができました。



【湯沢砂防さんから説明を聞く】

歩き続けること2時間以上、山の頂上に着くまで「ここは〇〇さん畑、ここは〇〇さんの田んぼだった」と聞くと「こんな山の上にどうやって??」と思う所に木籠の生活は生きづいていました。「おら家の田んぼは天空の田んぼだよ！」まさにそうでした。いくつも山を越え、どこよりも高い山頂で食べたお

にぎりは最高でした(^v^)



【昔はもつと上手かったぞ】



【葉っぱの雨傘よ】



山頂で記念撮影 ハイ、ちーずv(^v^)



今回は、湯沢砂防関係者の方々も参加してくださいました(写真左)。これからも木籠の復興に力をかしてくださる方々です。福島20km圏内の被災者の方々や長岡技術科学大学の学生さんたちも参加して、今日は1日、みんなで汗を流しました。ふるさと会の枠をこえた新しい人の輪が広がっていきます。

【よみがえりつつある田畑】



夏真っ盛り

～夏野菜、稲も蕎麦も ぐんぐん育つ～

春いちばんに楽しんだ田植え、へとへとになって植えた野菜の苗、暑さの中頑張って撒いた蕎麦の種。みんな木籠の大地に育てられ、すくすく大きくなりました。

かぐら南蛮、なす、キュウリ、ジャガイモ、トマト、メロン、スイカ、かぼちゃ・・・今年もどっさりの夏野菜を収穫しました。稲もすこし穂をたれ始め、これから秋の深まりと共に黄金色に色を変え、皆さんとの稲刈りを待っていることでしょう。お盆前に撒いた蕎麦はぐんぐん丈を伸ばし、今年も蕎麦打ちが楽しみです。

田んぼ



稲

【稲穂が頭をたれはじめました】



蕎麦畑

【野菜はシャキシャキ

お芋はホクホク】



【たった1カ月たらずの成長記録です】

【今後の予定】

9月10日(土) 山古志ウオークおもてなし
案山子祭り

9月23日(金) ふるさとコンサート

9月25日(日) 稲刈り

10月 2日(日) 脱穀

10月23日(日) 震災記念日

10月30日(日) 秋の山歩き(予定)

11月上旬 山古志バスツアー

11月下旬 蕎麦打ち

ホームページ近日オープン予定です
そちらもご覧ください

木籠盆踊り ～みなさんありがとう 大きな踊りの輪ができました～



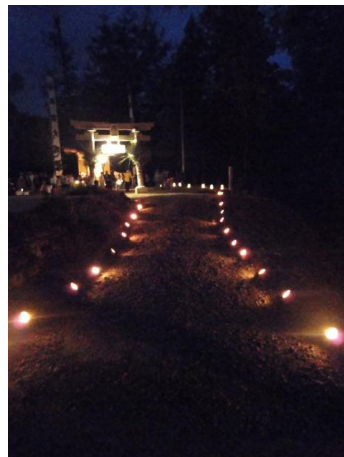
↑【今年のホラ貝吹きは、東洋大の学生さん】
 ←【竹で作ったろうそく立てがとてもきれいでした】
 ↓【腕自慢の太鼓打ちがかわるがわる打ち鳴らし、唄い手も二人で掛け合い。周りのかけ声威勢よく】

8月15日、今年の盆踊りは、木籠住民・ふるさと会のほか、となりの梶金集落の皆さん、東洋大学の学生さんなど、大勢の方が参加してくださいました。踊りがいつもより大きな大きな輪になって、時間も延長。梶金若い衆の太鼓とかけ声が勢いをつけ、唄い手に木籠出身のおじいちゃんがもう一人加わって、盛大な盆踊りとなりました。



盆踊りの準備も、三条のちびっ子、学生さん、みんなが手伝ってくれました。

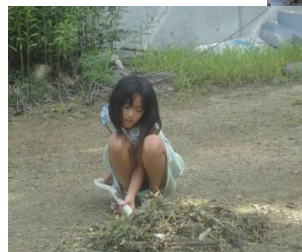
飾りの草木も、明かりも、太鼓も唄も、すべて本物。木籠の方々に教わって手伝います。みんなで作る、本当に手作りの盆踊りがここには残っています。



みんなありがとう



←【着物ガールズ】



↑【三条から手伝い
 ← に来てくれました】



夏の大豪雨

被害に遭われた方々に
心よりお見舞い申し上げます

7月30日に新潟をおそった大豪雨。山古志にも
何カ所かの土砂崩れがありました。

三条、魚沼など、避難された方々もいらっしやっ
たことと思います。心よりお見舞い申し上げます。
今回も、木籠の手伝いや、会員同士で電話などの声
かけ等ありがとうございました。
これからも、何かあったら助け合える会でありたい
と思います。

「土砂で詰まった側溝を
皆で片付けました」



木籠カレンダー 写真募集

**1年の集大成、木籠カレンダー。春夏秋冬
様々な行事の写真、木籠の風景、木籠に集ま
る人々。**

**木籠の素敵な一瞬をとらえた皆さんの写
真を、木籠カレンダーに是非使わせてくださ
い！！ 9月20日までに下記事務局まで
ご連絡ください。**

山古志木籠ふるさと会 募集



〔木籠の御神木 夫婦けやき〕

山古志・木籠地域の伝統、文化、暮らしを継承し、
地域の振興と発展に寄与することを目的とします。
集落活動や農作業・山仕事を通して共に働くことの
素晴らしさを実感し、豊かな自然の恵みを楽しむ元気な
村づくり、「千年続く日本の故郷」づくりをめざします！
遠くにいても、近くにいても、山里の暮らしを感じ、
木籠の応援団になって一緒に楽しみませんか



「日本の故郷 地震で沈んだ村
皆の力でここによみがえる 山古志木籠」

特典：（１）「会員証」の交付
（２）「山古志木籠ふるさと便り」毎号郵送
（３）こどもカレンダーをお送りします。

年会費：（個人）年額 2,000 円、（団体）年額 10,000 円（何名様でもOK！）

お申し込み方法：下記連絡先のどちらかに入会する旨をお知らせください

■山古志 木籠集落 区長 松井治二

（FAX／電話）0258-59-2180

■山古志木籠ふるさと会 事務局 担当：石井秀次

（Eメール）cid85830@syd.odn.ne.jp

入金方法：郵便振替又は、現金申し込みになります。

郵便振替方法：現金又は、郵便貯金口座から下記口座へのお振替となります。

（現金の場合）郵便局窓口で「電信払込み請求書・電信振替請求書」にご記入をお願いします。

※その際「お受取先口座番号」の『CD/再発行』欄は無記入で結構です。

（ゆうちょ銀行の口座をお持ちの場合）郵便局のATMからお取り扱いできます。

振替口座：ゆうちょ銀行 記号：11220 番号：25565141

口座名義人 山古志木籠ふるさと会（ヤマコシコゴモフルサトカイ）